

2024 年度 看護師特定行為研修 募集要項



公益財団法人慈愛会 今村総合病院
看護師特定行為研修センター

〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 11-23

TEL : 099-202-0171 FAX : 099-202-0270

2024 年度 開講

| 特定行為区分 | 開講状況 |
|--|------------|
| ①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 2022 年度 開講 |
| ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 2020 年度 開講 |
| ③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 2021 年度 開講 |
| ④ろう孔管理関連 | 2020 年度 開講 |
| ⑤創傷管理関連 | 2019 年度 開講 |
| ⑥動脈血液ガス分析関連 | 2022 年度 開講 |
| ⑦栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 2019 年度 開講 |
| ⑧感染に係る薬剤投与関連 | 2022 年度 開講 |
| ⑨在宅・慢性期領域パッケージ | 2021 年度 開講 |
| ⑩救急領域パッケージ | 2022 年度 開講 |
| ⑪栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | 2023 年度開講 |
| ⑫透析管理関連 | 2024 年開講予定 |
| ⑬血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 2024 年開講予定 |
| ⑭術中麻酔管理領域パッケージ | 2024 年開講予定 |
| ⑮救急コース | 2024 年開講予定 |
| ⑯ICU コース | 2024 年開講予定 |
| ⑰混合病棟コース | 2024 年開講予定 |
| ⑱在宅コース | 2024 年開講予定 |

※赤字の区分科目及び領域パッケージ研修は特定行為区分変更申請承認後開講予定

出願手続き期間：2023 年 10 月 10 日（火）～2023 年 12 月 28 日（木）（必着）

1. 教育理念

地域医療及び高度医療の現場において、フィジカルアセスメントと実践能力が高く、医療チームから信頼される自立した特定行為の実践看護師を養成します。

2. 教育目標

- 1) 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上で知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
- 2) 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ必要な特定行為を安全に実践できる基礎的能力を養う。
- 3) 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決にむけて多職種と効果的に協働できる能力を養う。
- 4) 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を養う。

3. 研修の特色

1) 研修の方法

研修の方法は、e-learning・面接授業と演習・実習になります。面接授業は医師・特定看護師・他コメディカルが行います。

演習についてはe-learningによる課題レポートの提出・症例検討及び実習に行く前の技術習得の確認になります。

実習については、ロールプレイやシミュレーターを用いた実技を習得し、臨床の場で行為ごとに5症例実習を行います。

2) 研修のスケジュール

・標準コース

- (1) 共通科目は、6科目のe-learning受講終了後、7月末に総合実習を行います。
- (2) 総合実習を終了した者は、8月に共通科目修了試験を受けます。
- (3) 9月の管理委員会にて共通科目の修了認定を行います。
- (4) 共通科目を修了認定された者は、9月より区分別科目の研修にすすみます。
- (5) 区分別科目は、全ての講義・演習・試験・実習を終了後、3月に修了判定を行います。
- (6) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連の実習は、協力施設「独立行政法人国立病院機構南九州病院」で行います。

・共通科目免除コース

- (1) 選択された区分のe-learning受講終了後、筆記試験・行為毎の5症例実習終了後に修了判定を受けます。

4. 履修コース

1) 標準コース

共通科目を受講後、継続して選択した区分別科目を習得するコース

2) 共通科目免除コース

指定研修機関で共通科目を修得しており、区分別科目を習得するコース

5. 募集定員

総数 30 名

1) 標準コース 19 名

(1) 標準 区分別科目選択制：各区分の最大定員は次の通りとする。(複数の区分科目の受講可)

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|-------------------------------------|---|-----|
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱 | 4 名 |
| ろう孔管理関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・ 膀胱ろうカテーテル交換 | 2 名 |
| 創傷管理関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・ 創傷に対する陰圧閉鎖療法 | 2 名 |
| 動脈血液ガス分析関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保 | 6 名 |
| 感染に係る薬剤投与関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染兆候がある者に対する薬剤の臨時の投与 | 5 名 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正 | 6 名 |
| 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 | 4 名 |
| 透析管理関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理 | 2 名 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ インスリンの投与量の調整 | 2 名 |

* 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連の定員
院内 2 名、院外 2 名

※標準コースの区分選択は希望を優先するが、定員の範囲内で決定する。

(2) 在宅・慢性期領域パッケージ

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|-----------------------|---|-----|
| 1) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 気管カニューレの交換 | 2 名 |
| 2) ろう孔管理関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 | |
| 3) 創傷管理関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 脱水症状に対する輸液による補正 | |

救急領域パッケージ

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|-----------------------|---|----|
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | ・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 2名 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱 | |
| 3) 動脈血液ガス分析関連 | ・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | ・ 脱水症状に対する輸液による補正 | |
| 5) 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | ・ 抗けいれん剤の臨時的投与 | |

術中麻酔管理領域パッケージ

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|-----------------------|---------------------------------|----|
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | ・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 2名 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸器からの離脱 | |
| 3) 動脈血液ガス分析関連 | ・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | ・ 脱水症状に対する輸液による補正 | |
| 5) 術後疼痛管理関連 | ・ 硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整 | |
| 6) 循環動態に係る薬剤投与関連 | ・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 | |

※領域パッケージ+区分別科目（1～2区分別科目）も受講できます。

在宅コース

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|-----------------------|---|----|
| 1) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | ・ 気管カニューレの交換 | 2名 |
| 2) ろう孔管理関連 | ・ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・ 膀胱ろうカテーテル之交換 | |
| 3) 創傷管理関連 | ・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・ 創傷に対する陰圧閉鎖療法 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | ・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正 | |
| 5) 感染に係る薬剤投与関連 | ・ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与 | |
| 6) 動脈血系ガス分析関連 | ・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ライン確保 | |

混合病棟コース

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|-----------------------|---|----|
| 1) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱 | 2名 |
| 2) 腹腔ドレーン管理関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む） | |
| 3) 創部ドレーン管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 創部ドレーンの抜去 | |
| 4) 動脈血液ガス分析関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保 | |
| 5) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正 | |

救急コース

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|-----------------------|--|----|
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 2名 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱 | |
| 3) 動脈血液ガス分析関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正 | |
| 5) 感染に係る薬剤投与関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染兆候がある者に対する薬剤の臨時的投与 | |
| 6) 循環動態に係る薬剤投与関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・ 持続点滴中の糖質液又は電解質液の投与量の調整 ・ 持続点滴中の利尿薬の投与量の調整 | |

ICU コース

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|-----------------------|--|----|
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | ・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 2名 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱 | |
| 3) 動脈血液ガス分析関連 | ・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | ・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正 | |
| 5) 透析管理関連 | ・ 急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理 | |
| 6) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | ・ インスリンの投与量の調整 | |
| 6) 循環動態に係る薬剤投与関連 | ・ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・ 持続点滴中の糖質液又は電解質液の投与量の調整 ・ 持続点滴中の利尿薬の投与量の調整 | |

2) 共通科目免除コース 11名（指定研修機関で共通科目を修了している者）

(1) 共通科目免除 区分別科目選択制：各区分の最大定員は次の通りとする。（複数の区分科目の受講可）

| 特定行為区分 | 特定行為 | 定員 |
|--------------------|---|----|
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | ・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 2名 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱 | 2名 |
| 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | ・ 気管カニューレ交換 | 2名 |
| ろう孔管理関連 | ・ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうポタンの交換 ・ 膀胱ろうカテーテル之交換 | 2名 |
| 動脈血液ガス分析関連 | ・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保 | 6名 |
| 創傷管理関連 | ・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・ 創傷に対する陰圧閉鎖療法 | 2名 |

| | | |
|-------------------------------------|---|----|
| 感染に係る薬剤投与関連 | ・感染兆候がある者に対する薬剤の臨時的投与 | 5名 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与 | ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正 | 4名 |
| 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 | 4名 |
| 透析管理関連 | ・急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理 | 2名 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | ・インスリンの投与量の調整 | 2名 |

* 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連の定員
院内 2名 院外 2名

※ 共通科目免除コースの区分選択は希望を優先するが、定員の範囲内で決定する。

6. 履修期間

1) 標準コース

共通科目を受講後、継続して区分別科目を修得するコース

教育期間：2024年4月1日～2025年3月31日

* 研修期間は1年とするが、事情により研修が修了不可の場合、次年度に1年間の延長ができる

- (1) 標準 区分別科目選択制
- (2) 在宅・慢性期領域パッケージ
- (3) 救急領域パッケージ
- (4) 術中麻酔管理領域パッケージ
- (5) 在宅コース (6) 混合病棟コース (7) 救急コース (8) ICUコース

2) 共通科目免除コース

研修期間で共通科目を修了している者が区分別科目を修得するコース

* 研修期間は3ヶ月～7ヶ月とするが、事情により研修が修了不可の場合は、次年度に半年間延長ができます。

- (1) 共通科目免除 区分別科目選択制

| 研修期間 | 対象区分 |
|----------------------|--|
| 2024年4月1日～2024年8月31日 | ・呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ・呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・ろう孔管理関連 ・動脈血液ガス分析関連 |
| 2024年5月1日～2024年8月31日 | ・栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ・創傷管理関連 ・透析管理関連 ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 |
| 2024年5月7日～2024年8月31日 | ・呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・感染に係る薬剤投与関連 ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連 |

7. 区分の選択

区分別科目毎に開講する時期が異なるため、別紙年間スケジュール表を参照し、区分の選択を行ってください。

- 1) 標準 区分別科目選択制
受講できる区分別科目は、最高3区分とする
- 2) 共通科目免除 区分別科目選択制
受講できる区分別科目は、最高2区分とする

8. 研修の場所

- 1) e-learning 学習：自宅での視聴が主になります。
又は今村総合病院7階の講義室・演習室を利用することも可能です。
- 2) 面接授業：今村総合病院7階の講義室・演習室になります。
- 3) 演習（OSCE 含む）・実習：演習（OSCE を含む）は今村総合病院の7階講義室・演習室になります。
実習は今村総合病院の病棟・外来になります。
なお、呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連は独立行政法人南九州病院で実施します。

9. 受験者の要件

当院の看護師特定行為研修を志願する者は、次の要件をすべて満たしていなければなりません。

- 1) 標準コース
 - (1) 日本国の看護師免許を有すること
 - (2) 看護師の資格取得後、通算5年以上の実務経験を有していること
 - (3) 現在も看護実践に関わっている者（管理者、教育者を含む）
 - (4) 所属する施設長の推薦がある者
 - (5) 看護職賠償責任保険に加入している者（未加入者は入講後に加入していただきます）
- 2) 共通科目免除コース
 - (1) 厚生労働省が指定する看護師の特定行為研修の指定研修機関にて研修が修了している者で
研修修了証明書を提示できる者
 - (2) 当院が開講する区分を未取得で、当院の開催する区分を希望する者
 - (3) 現在も看護実践に関わっている者（管理者、教育者を含む）
 - (4) 所属する施設長の推薦がある者
 - (5) 看護職賠償責任保険に加入している者（未加入者は入講後に加入していただきます）

10. 研修内容と時間数

【共通科目】（必須）

| 科目名 | 時間数（時間） | | | | |
|----------------|---------|------|-------|-------|-----|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| ① 臨床病態生理学 | 29 | 1 | — | 1 | 31 |
| ② 臨床推論 | 26.5 | 16 | 1 | 1.5 | 45 |
| ③ フィジカルアセスメント | 17.5 | 8.5 | 13.5 | 5.5 | 45 |
| ④ 臨床薬理学 | 32.5 | 11.5 | — | 1 | 45 |
| ⑤ 疾病・臨床病態概論 | 37 | 3 | — | 1 | 41 |
| ⑥ 医療安全学/特定行為実践 | 24.5 | 14 | 4.25 | 2.25 | 45 |
| 合計 | 167 | 54 | 18.75 | 15.75 | 252 |

※「講義」は、e-learning を利用します。

※「演習」は、演習課題レポートの提出及び集合授業で行います。「実習」は集合授業及び臨床で行います。

【区分別科目】

| 区分名 | 時間数（時間） | | | | |
|-------------------------------------|---------|----|--------|-------------|---------------|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9.5 | — | 5 症例 | 1 OSCE | 11.5+ 5 症例 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 26.5 | 6 | 5 症例×4 | 2.5 | 35 |
| 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 8.5 | — | 5 症例 | 1 OSCE | 10.5 |
| ろう孔管理関連 | 23 | — | 5 症例×2 | 4 OSCE | 27 |
| 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | 8.5 | — | 5 症例 | 2 OSCE | 10.5 |
| 創傷管理関連 | 34.5 | — | 5 症例×2 | 4 OSCE | 38.5 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 15.5 | — | 5 症例×2 | 3.5 OSCE | 19 |
| 透析管理関連 | 8.5 | 3 | 5 症例 | 1 | 12.5 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 15.5 | 2 | 5 症例×2 | 1.5 | 19 |
| 感染に係る薬剤投与関連 | 22.5 | 6 | 5 症例 | 2 | 30.5 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 12.5 | 3 | 5 症例 | 2 | 17.5 |

「講義」は e-learning を利用及び面接事業

「評価」は筆記試験・OSCE（実技試験） 観察評価

【①在宅・慢性期領域パッケージ】

| 区分名 | 時間数（時間） | | | | |
|--------------------|---------|----|------|-------------|------|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 8.5 | — | 5 症例 | 2 OSCE | 10.5 |
| ろう孔管理関連 | 16 | — | 5 症例 | 2.5 OSCE | 18.5 |
| 創傷管理関連 | 25.5 | — | 5 症例 | 3 OSCE | 28.5 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 10.5 | 1 | 5 症例 | 1 | 12.5 |

【②救急領域パッケージ】

| 区分名 | 時間数（時間） | | | | |
|--------------------|---------|----|--------|-------------|------|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9.5 | — | 5 症例 | 2 OSCE | 11.5 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 26.5 | 6 | 5 症例×4 | 2.5 | 35 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 14.5 | — | 5 症例×2 | 3.5 OSCE | 18 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 10.5 | 1 | 5 症例 | 1 | 12.5 |
| 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | 12 | 2 | 5 症例 | 1.5 | 15.5 |

【③術中麻酔管理領域パッケージ】

| 区分名 | 時間数（時間） | | | | |
|--------------------|---------|-----|--------|-------------|------|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9.5 | — | 5 症例 | 2 OSCE | 11.5 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 15.5 | 3 | 5 症例×2 | 1.5 | 20 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 14.5 | — | 5 症例×2 | 3.5 OSCE | 18 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 10.5 | 1 | 5 症例 | 1 | 12.5 |
| 術後疼痛管理関連 | 7 | 1.5 | 5 症例 | 1 | 9.5 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 10 | 2 | 5 症例 | 1.5 | 13.5 |

【④在宅コース】

| 区分名 | 時間数（時間） | | | | |
|--------------------|---------|----|--------|-------------|------|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 8.5 | — | 5 症例 | 2 OSCE | 10.5 |
| ろう孔管理関連 | 26.5 | — | 5 症例×2 | 6 OSCE | 35 |
| 創傷管理関連 | 34.5 | — | 5 症例×2 | 4 OSCE | 38.5 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 14.5 | — | 5 症例×2 | 3.5 OSCE | 18 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 15.5 | 2 | 5 症例×2 | 1.5 | 19 |
| 感染に係る薬剤投与関連 | 22.5 | 6 | 5 症例 | 2 | 30.5 |

【⑤混合病棟コース】

| 区分名 | 時間数（時間） | | | | |
|--------------------|---------|----|--------|-------------|-----|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 26.5 | 6 | 5 症例×4 | 2.5 | 35 |
| 腹腔ドレーン管理関連 | 8.5 | — | 5 症例 | 1 | 9.5 |
| 創部ドレーン管理関連 | 6 | — | 5 症例 | 1 | |
| 動脈血液ガス分析関連 | 14.5 | — | 5 症例×2 | 3.5 OSCE | 18 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 15.5 | 2 | 5 症例×2 | 1.5 | 19 |

【⑥救急コース】

| 区分名 | 時間数（時間） | | | | |
|--------------------|---------|-----|--------|-------------|------|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9.5 | — | 5 症例 | 2 OSCE | 11.5 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 26.5 | 6 | 5 症例×4 | 2.5 | 35 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 14.5 | — | 5 症例×2 | 3.5 OSCE | 18 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 15.5 | 2 | 5 症例×2 | 1.5 | 19 |
| 感染に係る薬剤投与関連 | 22.5 | 6 | 5 症例 | 2 | 30.5 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 25.5 | 6.5 | 5 症例 | 3.5 | 35.5 |

【⑦ICUコース】

| 区分名 | 時間数（時間） | | | | |
|--------------------|---------|-----|--------|-------------|------|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9.5 | — | 5 症例 | 2 OSCE | 11.5 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 26.5 | 6 | 5 症例×4 | 2.5 | 35 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 14.5 | — | 5 症例×2 | 3.5 OSCE | 18 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 15.5 | 2 | 5 症例×2 | 2 | 19 |
| 透析管理関連 | 8.5 | 3 | 5 症例 | 1 | 12.5 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 12.5 | 3 | 5 症例 | 2 | 17.5 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 25.5 | 6.5 | 5 症例 | 3.5 | 35.5 |

※①～⑦「講義」は e-learning を利用及び面接事業「評価」は筆記試験・OSCE（実技試験） 観察評価

11. 出願手続き期間

2023年10月10日（火）～2023年12月28日（木）必着

12. 受験審査料

受験審査料 10,000 円（消費税を含む）

* 出願提出書類到着後、振込先情報をメールにて送付いたします。

メール到着後 1 週間以内に振込をお願いいたします。

13. 出願提出書類

提出書類は、下記のホームページよりダウンロードし提出して下さい。

※ 様式は手書き不可

今村総合病院看護師特定行為研修センター <https://tokutei-kangoshi.jp>

1) 標準コース・領域パッケージ・在宅、混合病棟、救急、ICU コース

- (1) 看護師特定行為研修志願書（様式1）
- (2) 履歴書（様式2）
- (3) 志願理由書・推薦書（様式3）
- (4) 看護師免許証（写し）

2) 共通科目免除コース

- (1) 看護師特定行為研修志願書（様式1）
- (2) 履歴書（様式2）
- (3) 志願理由書・推薦書（様式3）
- (4) 看護師免許証（写し）
- (5) 履修科目免除申請書（様式4）
- (6) 認定された科目の履修を証明する書類

14. 出願書類提出方法

- 1) 上記の出願書類をそろえる。
- 2) チェックリストで確認する。
- 3) 封筒に下記の提出先を記入する。
- 4) 封筒表左に「看護師特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きする。
- 5) 郵便書留で送付する。

【 提出先・問い合わせ窓口 】

〒890-0064

鹿児島県鹿児島市鴨池新町 11-23

公益財団法人慈愛会 今村総合病院 看護師特定行為研修センター

メールアドレス：jtokutei@jiaikai.jp

TEL：099-202-0171 FAX：099-202-0270

※ 提出前に必ずチェックリストにて確認を行ってください。書類の不備があった場合には原則として受け付けません。確認を十分に行ってください。

15. 受講者採用の選考

選考日：2024年1月12日（金）13時～

選考内容：標準コース 小論文：60分 個人面接試験：各10分程度

免除コース 書類審査

※ 詳細につきましては、出願書類を確認後、個人のメールアドレスへご連絡いたします。

16. 選考の合否発表

2024年2月2日（金）

合否の通知は、本人宛簡易書留にて郵送いたします。

電話、FAX、メール等でのお問い合わせには対応いたしませんので、ご了承ください

17. 受講手続き及び研修受講料について

合格通知の際に、受講手続き及び研修受講料の振込についての詳細をご案内いたします。

受講手続き及び研修受講料の振込については、以下のとおりです。

・ **受講手続き・受講料振込期間：**

2024年 月 日（月）～2024年 月 日（火）

・ 研修受講料は、同封の専用振込用紙にて、振り込んでください。

・ 専用振込用紙以外での振込の場合、振込手数料が振込者の負担となりますので、ご注意ください。

・ お振込いただいた受講料につきましては、返金いたしませんので、ご了承下さい。

研修受講料（消費税を含む）

| | | |
|---------------|---------------|-------------|
| 共通科目（標準コース必修） | 慈愛会内 150,000円 | 院外 330,000円 |
|---------------|---------------|-------------|

| | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 50,000円（教材費10,000円含む） |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 90,000円 |
| 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 60,000円（教材費10,000円含む） |
| ろう孔管理関連 | 90,000円（教材費30,000円含む） |
| 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | 30,000円（教材費10,000円を含む） |
| 創傷管理関連 | 100,000円（教材費20,000円含む） |
| 動脈血液ガス分析関連 | 50,000円（教材費20,000円含む） |
| 透析管管理関連 | 30,000円 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 40,000円 |
| 感染に係る薬剤投与関連 | 30,000円 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 30,000円 |
| 在宅・慢性期領域パッケージ | 200,000円（教材費48,000円含む） |
| 救急領域パッケージ | 200,000円（教材費30,000円含む） |
| 術中麻酔管理領域パッケージ | 200,000円（教材費33,000円含む） |
| 在宅コース | 150,000円（教材費40,000円含む） |
| 混合病棟コース | 130,000円（教材費20,000円含む） |
| 救急コース | 150,000円（教材費30,000円含む） |
| ICUコース | 150,000円（教材費30,000円含む） |

※ 研修受講料は、許可された科目の合計金額となります。

※ 共通科目受講料について：慈愛会内は、e-learning 共通科目受講済みのため演習・実習のみの経費になります。

※ 上記の他、必要に応じて教材等経費が別途必要になる場合があります。

18. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、当院の看護師特定行為研修及びこれらに付随する事項にのみ利用し、他の目的には利用しません

19. その他

【 主たる研修場所 】

鹿児島市鴨池新町 11-23 公益財団法人慈愛会 今村総合病院

面接授業・演習：B棟 7階 看護師特定行為研修センター及び講義室・演習室

実習場所：主にA棟またはC

【 交通アクセス 】

- ・市営バス ニュータウン中央バス停下車・・・徒歩約2分 ・県庁前バス停下車・・・徒歩約5分
- ・市電 郡元下車・・・・・・・・・・徒歩約15分
- ・車の場合 駐車場・・・・・・・・専用の駐車場はありません。 近隣の県営駐車場をご利用下さい。



【 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連の実習場所 】

協力施設：独立行政法人国立病院機構 南九州病院

〒 899-5293 鹿児島県始良市加治木町木田 1882



